



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

4

MONTHLY LETTER No.10

2004. 4. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
RI会長賞について	3
国際大会ホストイベントの締切りせまる	4
地区家庭奉仕委員会報告(江差RC講演会・パネルディスカッション)...	5
地区ローターアクト海外研修報告	7
地区派遣GSE報告	9
地区子ども奉仕委員会報告	12
地区ロータリー財団寄付一覧表	13
ロータリーの会員増強ガイドライン	14
ハイライトよねやま49	17
ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	18
文庫通信/訃報	19
掲示板/親睦活動委員会ニュース	20
2月会員数・出席率	21
地区カレンダー	22

ガバナーメッセージ



公式地域雑誌「ロータリーの友」誌を読もう！

ガバナー 佐藤 秀雄

4月は雑誌月間だ。「ロータリーの友」誌は日本における公式地域雑誌としてRIから認定され、本人が会員となっている限り、購読を続ける事を会員身分保持の条件としている。従って日本の全ての会員は年間2,400円の購読料と消費税を払って購読を義務付けているロータリーの機関誌である。各クラブは年会費を一括徴収しているため無料でRIから提供されていると勘違いしている会員も少なからず見受けられる。それが直接の原因かどうか知らないが「友」誌の読書率は8%と聞く。多分クラブ会員は例会場で手にとりパラパラと写真と表題を読んで職場の机の上に放置し、幾日か経つとごみ箱にというケースが多いのではないかと想像する。ロータリーに魅力がないのか、或いは「友」誌に魅力がないのかのどちらかだと思う。私は突然のガバナー指名によって、これからどうしようかと考えた。ある先輩が「ロータリーの友」誌を3年分読破しなさいと教えてくれた。それから暇を見つけては「友」誌を読んだことが記憶に新しい。3年分読めと言われたが、読んだのはせいぜい1年分か、それよりちょっと上ぐらいだと思う。すみから隅まで丁寧に読ませていただいたが、これには相当の根気と気力が必要だったように思っている。しかし、この古典的ともいえる「友」誌を読んだおかげで、ロータリーが少し解ったような気がしてならない。RI会長メッセージ、RI指定記事等は楽しく読ませていただいた。それから地区だより、言いたい聞きたい欄など興味を持って読ませていただいた。総体的に言ってRIに迎合的記事

が多いのは組織防衛の面から言って仕方がないことなのかも知れないが、厳しい批判の記事が掲載されていないのは寂しい。勿論個人的な非難中傷ではなく現在のロータリーはこうだから、これからのロータリーはこうあるべきだ。この様な投書があればどんどん載せて欲しいものだ。批判を封じ込める組織は裸の王様となりいずれ崩壊する。改革なくして前進なし、どこかの首相が言っているが、実践されれば素晴らしいことである。二神編集長が就任され新しい視点で「友」誌も編集され、見やすく読みやすくもなった。そこでクラブは「ロータリーの友」誌をロータリーの友委員会（雑誌委員会）が、クラブ会員にこれは知らしむるべき記事だと思うものを探し、月の第1例会において発表すべきである。そのために「友」誌編集部はクラブの全員に配布される前に「クラブの友委員会（雑誌委員会）」に1週間も早く「友」誌を配布しているのである。そこにはRIの情報が満載されている。RI会長の動向、RI理事会の決定事項、友愛の広場、言いたい聞きたい、卓話の泉等々には沢山のロータリー情報や人生についての教訓が載っているし、他地区がどのような社会奉仕や新世代の事業を展開しているかも知ることが出来る。特に思うのは「友」誌の編集委員である。功なり名を遂げた人達、すなわち長老と言われる人達で占められている。若い世代を入れた均衡の取れた人事の配置に心がけ若い人達の意見も取り入れる編集方針をとれば、もっと多くの会員が親しみを込めて読んでくれるのではなからうか。

ガバナー日記(8)

2004年1月は中旬過ぎまで各種団体の新年交礼会が開催され、これに参加することで費やされた。1月24日からは1週間の予定でスリランカに行くこととした。総勢10名で札幌北RCから寄贈された内視鏡を分解し小分けにして各自が持参する事とした。スリランカのホテルで厚生省の役人に機器の使用説明し無事引渡しを終えた。もう一つの目的は、千歳RC、千歳セントラルRCが中心になって集荷積み込みし、全12グループが協力してくれた中古自転車がスムーズに目的地に着いているかどうかの確認もあった。中古自転車は残念ながら保税倉庫に眠っており善処方をお願いした。コロomboRCのダヤシリPG、キャンデイRCのDr.ビジェイPGに協力いただき必ず関税、送料をスリランカ側で負担し目的地に運ぶ事を確約いただいた。

2月2日(月) 札幌真駒内RC創立30周年記念式典がホテルライフオットで盛大に開催された。台湾の台北大同RCとの友好クラブの提携調印式もあり20名近い参加者で国際的な式典となった。山田会長、船本実行委員長ご苦労様でした。

2月5日(木) 千歳全日空ホテルでガバナー諮問委員会を開催。30分の予定で(1)第2500地区との連合地区大会について、(2)RI人頭分担金について話し合いを持った。続いてPGご夫妻を含めてアナハイム国際協議会に出席される遠藤ガバナーエレクトご夫妻のための壮行会に移り先輩ガバナーからアナハイムへの心得等を伺った。

2月8日(日) 第9グループ宮武ガバナー補佐招集による「2004年第9グループと白老RC(家族同伴)会員交流会」参加のため家内と室蘭市の中島神社蓬峯殿にJRで向う。ガバナーとガバナーエレクトのスピーチがそれぞれ30分、その後懇親会に入る。会員が持ち寄った品々をオークションにか

け売上金25万円余をポリオに寄付してくれた。厚く御礼を申し上げる。

2月10日(火) 様似RC夜間例会にご招待を受け坂井地区幹事と車で例会場の「アポイ山荘」へ向う。細川ガバナー補佐、小野会長等に迎えられ例会に入る。少ない会員ながら厳格に例会が行われた。終了後開催された懇親会では素晴らしい山海の珍味と会員の暖かい歓待に敬服、夜11時すぎに帰宅。快い眠りにつく。

2月13日(金) 札幌ガーデンパレスでスリランカ訪問の反省会。坂井地区幹事が旅行記をテレビ用に30分に纏めてくれた。そこには小林直前PGがタバコを吸っている姿(ゼスチャー)には歓声が上がった。

2月14日(土) 国際親善奨学生最後のオリエンテーションが当別の道新研修センターで開催、財団学友達も参加し留学の心得等について話された。土橋委員長の懇切丁寧な指導に感服。私は今年度の募集学生は、ロータリー財団から162,000ドル(1,700万円)の資金を持ってこの事業を推進している事、そしてこれはロータリアンの善意の寄付によって賄われている事を話した。余談だが、千歳RCの会員である大村会員の会社(製薬会社)に2年間の留学を終えて入社した奨学生が例会に出席した。留学の模様をパワーポイントで解り易く説明しながら、これはロータリアン皆様のお陰で留学が出来た事、自分の生涯にとってどれほど素晴らしいものであったかについて話された。きっと会員は財団の寄付がこの様に有益に使用されていることを再認識したに違いない。

2月18日(水) GSEチーム壮行会がセンチュリーロイヤルホテルで開催され、戸部謙一(札幌西RC)団長他4名の団員が2月23日(月)、第3830地区フィリピンへ行く予定だった。しかし、千歳地方大雪のため2日遅れの26日(木)出発となった。



2003-04年度 会長賞について

2003-04年度 RI 会長

ジョナサン B. マジリアベ

手を貸そう

ロータリアンの皆さま：

ロータリーは、積極的に奉仕に参加する会員組織として知られています。私のテーマ、**手を貸そう**は、ロータリアンにとって簡単かつ自然な行動を表しています。このテーマはまた、私たち一人ひとりがどこかで誰かのために助力することができる重要な奉仕を思い出させてくれます。私たちは、地域社会で、職場で、世界に対して、そしてクラブで、**手を貸す**ことができます。

2003-04年度会長賞は、奉仕に重点を置き、貧困、紛争といった世界最大の不幸に対処し、ロータリーの家族を助長するこれまでの、また今後の活動を補い、維持するために、プログラムに参加し、新しいプロジェクトを立案するという課題をクラブに与えます。クラブは四大奉仕部門を指針として用い、クラブ、職業、社会、そして世界で、奉仕活動を遂行することになります。私はまた、クラブに、私がロータリーの家族と呼ぶ概念に参加するよう奨励します。この概念において、クラブの発展と親睦活動を通して、ロータリアンは互いに、またロータリーの数多くのプログラムと活動に感銘する人々に**手を貸し**ます。

紛争、貧困、そして無知のない世界に着実に近づくには、クラブは新会員ならびにこうした活動に参加したことの無い人々を関与させなければなりません。そのためには、クラブは、私たちのランクにある質の高い、熱意ある男女を得て充実しなければなりません。

会長賞プログラムに参加すれば、あなたのクラブは貧困の軽減、平和の構築、会員の増強、退会防止、支援、ならびに関与の重要性を認識することになります。貴クラブを2003-04年度会長賞「**手を貸そう**」で表彰させていただくのを楽しみにしております。 敬 具

資格基準と提出期限

2003-04年度会長賞を受賞するには、クラブは各奉仕部門で、ロータリーの家族を支援する活動から成るよく計画されたプログラムを実施しなければなりません。クラブが実施しなければならない活動の数は、以下の表に概説された通り、その会員数に基づいています。

クラブの大きさ (2003年7月1日現在) 会員数50名以下	各カテゴリーでの 達成事項の数
51～150名	2
151名以上	3
	4

受賞資格を得るために、クラブがすべきこと：

- ・上の表に従って、貴クラブがロータリーの家族の概念において、また各奉仕部門で達成しなければならない最低の活動数を決定します。
 - ・各カテゴリーの推奨活動の項目を検討し、貴クラブが期限までに達成するものを選択し、それらを目標として設定します。
 - ・2003年7月1日から2004年4月1日の間に目標を達成します。
 - ・目標を達成したら、会長賞申込書（900IB-03JA）に漏れなく記入し、貴地区のガバナーに送付します。貴地区のガバナーは、申込書に署名して、クラブの大きさと貴クラブが達成した活動を証明しなければなりません。ガバナーは、2004年4月15日までに、RI世界本部に申込書を送付しなければなりません。
- 会長賞の受賞資格を得たクラブには、その卓越した業績を称えて表彰状が授与されます。

地区内会長・幹事様

昨年度の地区協議会で配布しております会長賞パンフレット及び会長賞申込書をご覧ください。会長賞の受賞資格を得るためには、各クラブはクラブの会員数に応じて活動を完了しなければなりません。

なお、パンフレットにある会長賞受賞資格のうち、クラブの活動内容の一部について下記のように解釈してもよい旨、日本事務局よりご連絡がございました。

あなたの地域社会に

- あなたの地域社会で飢える人々に食糧を供給し、地域社会の全住民に安全な飲み水を供給し、もしくは貧困社会層に医療を提供するために、継続的な貧困の追放プロジェクトを提唱、または参加します。(必須)
- とありますが、これを以下のように、
- あなたの地域社会あるいは他国の地域社会で飢える人々に食糧を供給し、地域社会あるいは他国の地域社会の全住民に安全な飲み水を供給し、もしくは貧困社会層に医療を提供するために、継続的な貧困の追放プロジェクトを提唱、または参加します。(必須)

地区ガバナーは、各クラブから提出された申込書に署名し、クラブの達成事項を証明して国際ロータリー本部に提出します。提出期限は2004年4月15日です。

ホストイベントの締切りせまる！

2004年国際大会（関西）事務局

ホスト主催行事の事前登録が4月30日で締切られます。

4月30日以降は、大会期間中でのお申込となりますので、「是非、このイベントに参加したい！」という方は、クラブへお申込ください。

尚、定員になり次第、締切らせていただきます。ご了承ください。

★京都デー

- ・ 5月22日(土) 8:00~23:00
参加費：¥10,000.-
参加予定数：3,000名
- ・ 主に海外参加者対象ですが、国内参加者の方で、ご希望の方は下記へお問合せください。

【京都デー委員会事務局】

TEL：075-211-5550

FAX：075-211-8880

e-mail：kd2004@mbx.

kyoto-inet.or.jp

☆ウエルカムコンサート

(NHKホール)

- ・ 5月22日(土) 16:00~20:00
参加費：¥6,000.-
参加予定数：1,270名(先着順)
- ・ 司葉子さんによるポリオドネーションのプレイベントや、有賀のゆり名誉教授(同志社女子大)のチェンバロ演奏。
その後に、N響コンサートの公演(18:00~20:00)となっております。
指揮者：ユッカ・ペッカ・サラステ
ピアノ：オリ・ムストネン
多数のご参加をお待ちしております。

☆道頓堀ナイト

- ・ 5月24日(月) 17:00~21:30
参加費は、無料です。道頓堀で情緒あふれる夜を楽しみましょう！
ふるってご参加ください。
お申込はクラブへ。

★神戸ナイトクルーズ

- ・ 5月24日(月) 18:00~22:00
¥5,000.-
好評につき定員となりました。
ありがとうございました。

☆パークフェスタ

- (ユニバーサルスタジオ・ジャパン)
- ・ 5月25日(火) 17:30~23:00
参加費：¥6,000.-
参加予定数：9,000名(食事券付)
大会のための特別ショー(17:30~、19:00~、20:30~の3回)をご用意しております。
大阪でハリウッドマジックを体験しよう!!

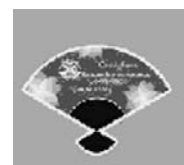
「記念バッジ」・「記念切手」の 販売のお知らせ

開催を記念して「記念バッジ」及び「記念切手」が発売されます。ご記念またおみやげに、是非、会場にてお買い求めください。

【タイプA】・・・単価¥1,500.-
ホスト4地区のバッジと国際大会ロゴマークバッジのセット



【タイプB】・・・
単価¥300.-
国際大会ロゴマーク
バッジ



“今” 親として子として 「心をつなぐコミュニケーション、家族はわかりあえる」

江差RC社会奉仕委員長 松原富郎

地区家庭奉仕委員長 和田壬三（札幌南RC）

“今” 親として子として「心をつなぐコミュニケーション、家族はわかりあえる」と題する親業“講演会” & パネルディスカッションが、2月11日（水・祝）江差ロータリークラブ（前川敏雄会長）の主催で江差町文化会館において開催されました。

1、講演

土橋芳美親業インストラクターから、会場の参加者全員を巻き込んで自分の長所を三つ上げて自己紹介をさせるところから始まりました。

会場には、約200名の市民の方が、参加していましたが、皆自己紹介が苦手であることに気づいたようです。

自分の長所を知らずしてどうして他人の長所を知ることが出来ようか。

人にはそれぞれ長所短所があるが、それを認め合った上で、上手に他人と付き合う方法が親業である。

アメリカのトマス・ゴードンさんという臨床心理学者が、健全な親子関係を回復するために開発した方法で、基本的には、三つの方法で成り立っている。

聞くこと 能動的に聞く。…繰り返す、言い換える、気持ちを汲むという方法によって聞くこと。

話すこと 親が子供に自分の気持ちを素直に伝える。

対立を解く 親と子の欲求が対立したとき、互いに満足できる解決策を探す。

このような方法を身につけると実際には、どのような会話になるか、ということで、同行した中村圭衣子さんとロールプレイ（会話の訓練）を実演しました。

同じことを伝えるにも一寸した会話の工夫で随分と人間関係に与える影響が、違うことをよく理解できたと思いました。

2、パネルディスカッション

北海道新聞江差支局の黒田伸さんをコーディネー

ターとして、パネラーには、土橋芳美親業訓練インストラクター、奥尻島出身で東京在住の詩人麻生直子さん、江差北高の校長の中井文夫さんと地区家庭奉仕委員長で弁護士の和田壬三、ゲストにシンガーソングライターの千鶴伽さんという顔ぶれでした。



大阪で起こった、児童虐待問題は他人事ではなく、平和な江差でも起こりうる問題であることから、現代の子供たちは、言葉が少ない。特に田舎の子は、表現力が乏しいから、問題を抱えたときに状況を的確に伝えることが出来ないという問題があることを麻生直子さんは指摘されました。

中井文夫校長からは、江差でも不登校の子もいる。家族が孤立するのが、原因ではないか。家庭に干渉することは、差し出がましいという慣習があるが、この地方では、独特の言葉があり、おせっかいを焼くことが肯定語として用いられている。学校でも出来るだけ、町中の方が交流できるような機会を提供できるよう工夫している。例えば運動会などは、父母も参加できるようにしている。

和田は、以下のような報告をした。ロータリークラブは、職業を通じて社会に奉仕する団体である。そのために先ず家庭から奉仕しようという活動をしている。

1、家庭の問題は、人生観の問題である。快適な生活、果てしない欲望、出世や権力欲に喜びを見出し、競争原理の働く社会に価値を見出すのか、現状に満足し、豊かな自然と共生し、競争より共生に価値を見出すのか。の問題ではないのか。離婚などの原因も突き詰めるとこのような問題に起因

ローターアクト海外研修報告



ローターアクト海外研修旅行

1月31日(土)～2月4日(水)

今回の主な目的はエイズ患者のホスピス「ナンプー寺」への車いすの寄贈と慰問する事でした。

渡航前、WCSでもお世話になっているバンコク在住の藤岡さんにコーディネートをお願いし、アクト自身が藤岡さんと数回のメールでの打合せで、車いすを持っていくこと。また、古着を手荷物として持ってきて欲しいとの事項を調整し、また、「ナンプー寺」やエイズの勉強会を1度(会長・幹事会時に)行い、十分とはいかないまでも、インターネットで資料を集め、研修旅行に備えました。

1月31日(土) 千歳に午後1時集合、深夜バンコクに無事到着しました。

2月1日(日) 前日深夜2時まで古着の受け渡し作業をホテルで済ませ、翌日は8時集合という最初からハードな日程でメインの2日目が始まりました。

今日訪問するのは、バンコクから北へ120キロ、ロブリー市の郊外に建つ「ナンプー寺」、エイズ患者のホスピスを運営している施設です。現在約250名のHIV感染者とエイズ患者が助け合いながら暮らしています。偏見などから、職場や地域で居場所を失った同士が、たどり着いた共同生活、気力を失いかけている人々に、生きる意味をもう一度探し出してもらおうというのがホスピスの考え方だそうです。

実際には、「ナンプー寺」ではエイズの治療の為の医療行為はしていないということでした。

バスの中でコーディネーターの藤岡さんからいろいろレクチャーを受け、「訪問する我々が、感染者で、風邪など引いている人は、患者にうつるので、マスクをして下さい」との言葉に感心し、エイズの本質を知ったような気がしました。「訪問する我々がエイズに感染するのではなく、エイズにより抵抗力・免疫力が落ちた患者達が、我々が持っていった

地区ローターアクト委員会

委員長 柳 孝 一 (札幌南RC)

病気に感染してしまう」という事です。

10時半頃到着、日本から携えた車いす1台と古着、参加者全員から集めた少しのお金を寄贈。受け取りの書類と施設のパンフレット、CDの写真集をいただきました。まずは、体育館のようなところで、患者さんの歌や踊りのパフォーマンス、コンピューターを使ったナンプー寺の説明を受けました。すでにタイの高校生と思われる30人くらいの団体がいました。その説明はタイ語のため、ほとんど理解できず、クイズのような事もやっていた様子です。

その後、重病棟へ。病院というよりは、事務所のような所で、末期のエイズ患者の病棟で、50ベッドくらいのような所、肺炎や結核などを併発し、自活できなくなった患者が入所していて、空きベッドはありませんでした。

次に中度の患者がいる病棟で、半数は身の回りのことは、自分で出来る様な人が、狭い部屋の中でしている。「サワディーカップ」(こんにちは)と声をかけると、どんなに寝ている人も「サワディーカップ」と手を合わせる。うれしいような、悲しいような、複雑な気持ちに…。

私もそうでしたが、初めて接見するエイズ患者とどのように接していいかわからず、戸惑いながら、多少遠巻きに患者さんと日本からきたことを伝えたり、うなづく事だけが精一杯で我々は、そこにいるだけで目一杯でした。

ヨーロッパからボランティアにきているという人が数人、マッサージや体を拭いてあげていました。聞くと、ボランティアの人は、ホリデーを使って数日間滞在するそうです。

手振り身振りでコミュニケーション、みんな人なつっこい。体は不自由でも目に力があつたような気がしました。

お昼には、患者さん、スタッフの方と炊き出しの食事を、ビュッフェスタイルで頂戴しました(なん

と無料)。現地の家庭料理というもので、数種類をお好みでチョイスできます。ちょっと辛かったです。ローターアクトも十分にタイ料理を堪能したようです。

昼食後は施設内での自由行動。患者さんやスタッフの方を相手にタイ語の勉強会をするもの、散策をするもの、病室へ戻り患者さんの世話をするもの、それぞれに有意義な時間を過ごしました。

最後に、施設で亡くなった方がミイラとして保存？されているところを見学。死体博物館という名らしいです。名前、生年月日、死亡年月日等が記され、20数体が並べられています。皆さん生前にこうなることを了承している方々だそうです。ほとんどが、ガラスケースに覆われているわけでもなく、むき出しの状態、死後5～8年の方が多かったようです。中には子どももあり、言葉に表せない、今まで体験したことのない感情を覚えました。アクトもそれぞれの感想を持ったことでしょう。それにしても、強烈なインパクトでした。

患者さんは、死への恐怖はないそうです。輪廻転生を信じ、来世でまた生きることを信じています。私たちが訪れた「ナンバー寺」は、死を目前にした人が、安らかに過ごす為の安息地だったのです。

2月2日(月) 市内観光、夜まで親睦を深めました。

2月3日(火) 基本的には自由行動でしたが、アクトは全員「飛んでけ 車いす」から提供を受けた2台の車いすをバンコク市内近郊のFCDという子どもの通所施設へ届けました。現地の地図が分かりにくく、相当苦勞して届けたようですが、その施設の子供達と交流をもち、充実した時間を過ごしたようです。

集合の8時までは自由行動。お土産等のショッピングや食事で楽しみました。ホテルに8時全員集合し、空港へ。23時発。それぞれの思いでを胸に、バンコクを後にしました。

2月4日(水) 成田6時30分無事到着し、羽田を經由し12時千歳で解散。

初顔合わせのメンバーが数名いるせいもあり、最初はどことなく遠慮していたのか時間の経過によりアクトの仲間意識がどんどん深まって行くのが分かります。研修旅行の醍醐味の一つでもあります。いろいろな意味でハードでタイトな海外研修でした。

参加ロータリアン

地区委員長 柳 孝一 (札幌幌南RC)
委 員 五十嵐桂一 (千歳RC)

参加ローターアクトクラブ

赤平RAC 3名、札幌北RAC 2名、岩内RAC 2名、千歳RAC 2名、室蘭北RAC 1名、岩見沢RAC 1名
合計13名



日本から持ってきた車いすと古着を寄贈しました。



中度病棟。ボランティアの方がマッサージをしています。



患者さんと記念撮影

派遣GSE報告

第3830地区・フィリピン（受入地区）

GSE副委員長 大場 康 弘

—GSEチームメンバー到着—

2月26日(木)、15分遅れで10時20分に到着し、私共3830地区からは4名で空港の入国管理局までお迎えに上がりました。

その後、ホテルに到着が11時頃、チェックイン後、ささやかながら歓迎のお茶会がありました。

3830地区よりは、ガバナー補佐のレネ・アキノ、バージー・カスティリョ、パスト会長のサリー・ティ

ンソン、ガバナー秘書長のブッチ・ソロモン、そして私が参加しました。

和やかに夜食を食べ、記念写真撮影を行い、その後携帯電話の使い方や、メールのやり方、今日以降の予定のこなし方などを簡単にブリーフィングしました。



—セントルクス病院と医科大学を訪問—

2月27日(金)、朝から白バイの先導でマカティクラブで直前会長のロバート・クワン氏が、ボランティアで理事長をされているセントルクス病院と、医科大学を訪問し、いろいろな説明を受けてまいりました。その後医科大学の学長と話し合いの場を持ちました。

お昼にはロバート氏経営の中華風鍋料理をご馳走になり、ロバート氏の自宅に招待され、今までの苦労話や、ビジネスの成功の秘訣などご教授いただきまして、大変に有意義に皆様過ごされたことと思います。



ープレゼンテーションー

3月3日(水)、午前、午後の市内観光の後、GSEの皆様は2回めのプレゼンテーションをマカティ・ベルエアーロータリークラブ、私のクラブのマカティ・メトロクラブで行いました。

ベルエアークラブの会長さんはレイシェル・オカンボさんで女性で、メトロクラブはセサル・エンリケスさんです。

私共のクラブは男性のみですが、ベルエアーは女性が多いです。場所は、マカティ市のロック・ウェ

ルクラブで夜の例会でした。

とてもGSEの皆さんはお互いのうちとけて、カラオケまで飛び出しました。写真でおわかりになると思います。GSEの皆さんもかなり慣れてきた模様で、笑いを取ることもあり、会場からは拍手喝采でした。

皆さん順調にフィリピンの生活に溶け込んできております。



マカティ・ジェイピーリサークルクラブ

3月4日(木)は、午前中から午後5時まで、パティの属するマカティ・ジェイピーリサークルクラブのホストで衣類工場見学を行いました。残念ながら私は同行しませんでしたので写真はありません。

夕方6時過ぎにGSEの皆さんと会いまして、感想を聞くと、皆さんそれぞれに「今日は暑かった、辛かった」というような返事が返ってきました。待ち合わせた場所が高級ショッピングモールで、早速メンバーは買い物に走っていました。

その後、やはりロックウェルクラブの例会場で夜の7時より、マカティ・パセオ・デ・ロハスクラブの例会に出席し、プレゼンテーションがありました。GSEの皆さんも戸部リーダーもだいぶ慣れてきたようで、なかなかロータリアンの笑いを取ることもしばしばでした。

特に着物のプレゼンが終わると、フィリピン側もフィリピンの衣装についての説明が始まるなど、質疑応答も大変に活発で、北海道のことについてもいろいろな質問がありました。

お互いにとても有意義な意見交換の場となりました。その後、バーナーの交換、お土産の授与がありました。このクラブの会長さんの名前はビック・ヤップさんです。メンバーの平均年齢も大変に若いクラブです。

3830地区でもとても活発なクラブです。





小中学校での授業と小中学生の 職業体験活動に御協力を！

地区子ども奉仕委員会

委員長 米山道男 (札幌北RC)

本委員会は、ロータリアンが「小中学校での授業」と「小中学生の職業体験」に協力する活動のお膳立てをするため、今年度新設されました。今年度の活動状況と今後の予定は以下の通りです。

【今までの活動状況】

- 委員会の開催
 - 第1回委員会 (社会・家庭両奉仕委員会と合同、03年6月)：全15名の内、7名参加。活動方針と年間計画。
 - 第2回委員会 (03年12月)：8名参加。協力会員登録の現況把握と促進の方策。
 - 第1回小委員会 (04年2月)：札幌と近郊の委員7名に呼び掛け、4名参加。協力会員登録の現況把握と今後の日程。
- 意見交換会の開催 (社会・家庭両奉仕委員会と共催、03年7月～8月)

函館、滝川、苫小牧、小樽、札幌で、ガバナー補佐、クラブ会長、幹事、社会奉仕委員会委員長、地区委員などと、今年度の3委員会の活動計画について意見交換。
- ロータリアンへの広報

03年3月～4月に、委員長が地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区協議会で説明し、03年10月と11月、2度に亘って、各クラブ会長に協力要請した他、委員会メンバーが、随時、各クラブに出向き卓話。

4. 授業の実施 (03年5月～04年2月)

札幌市立の北九条小 (3～6年生各4回、計16回) および北辰中学校 (3年生4組各1回、計4回)。

5. 協力会員の登録要請 (表1参照)

A (授業協力会員) と B (職業体験協力会員) の登録数は、現在それぞれ、総会員数の4%と2%。登録者0のグループは、一段の奮起をお願いします！

表1 グループ別登録数

グループ	A	B
1	0	0
2	0	0
3	0	0
4	21	8
5	30	21
6	6	5
7	12	8
8	10	3
9	21	19
10	0	0
11	7	4
12	15	5
合計	122	73
登録率	4%	2%

A:授業協力、B:職業体験協力

【今後の活動予定】

- 委員会の開催：第3回名簿編集 (4月)、第2回小委名簿作成 (5月)、第4回新旧引き継ぎ (6月)。
- 協力会員の登録促進：A・B共に登録数の目標は「全会員の10%」。会員各位の御協力を！ (今年度の登録締切日：4月14日)
- 授業経験者・学校関係者懇談会の開催：この活動での延べ20名の授業経験者、関連小中学校関係者、地区委員で、昨年度の活動を振り返り懇談 (4月)。
- 登録名簿の作成：データ入力 (5月) と印刷 (6月)。



第2回委員会
(03年12月13日、ホテルライフオートにて)



会員による授業風景 (04年2月5日、札幌市立北辰中学校3年1組の教室にて)

ロータリー財団寄付一覧表 (2004年2月29日現在)

2004年2月29日現在の地区内クラブ別ロータリー財団寄付状況をお知らせします。
 年次寄付目標額250,000ドルに対して2月29日現在で147,625.73ドル (59.05%) です。
 クラブ会員皆様の更なるご協力を宜しくお願い申し上げます。

(単位：米ドル)

グループ	クラブ名	年次寄付	使途指定寄	恒久基金寄	合計	グループ	クラブ名	年次寄付	使途指定寄	恒久基金寄	合計
1	深川	4,848.74	0.00	0.00	4,848.74	7	千歳	6,020.00	2,490.00	0.00	8,510.00
	羽幌	2,700.00	0.00	0.00	2,700.00		千歳セントラル	2,500.00	0.00	0.00	2,500.00
	妹背牛	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00		恵庭	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
	小平	800.00	0.00	0.00	800.00		北広島	0.00	0.00	0.00	0.00
	留萌	5,300.00	0.00	0.00	5,300.00		長沼	2,300.00	0.00	0.00	2,300.00
	計	14,648.74	0.00	0.00	14,648.74		由仁	0.00	0.00	0.00	0.00
2	赤平	1,750.00	0.00	0.00	1,750.00	計	11,820.00	2,490.00	0.00	14,310.00	
	芦別	5,945.53	2,590.65	0.00	8,536.18	えりも	1,700.00	0.00	0.00	1,700.00	
	砂川	1,600.00	2,499.75	200.00	4,299.75	三石	0.00	0.00	0.00	0.00	
	滝川	6,200.00	3,400.00	0.00	9,600.00	様似	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00	
	計	15,495.53	8,490.40	200.00	24,185.93	静内	2,000.00	3,400.00	0.00	5,400.00	
3	美唄	1,500.00	0.00	0.00	1,500.00	浦河	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	
	江別	2,966.00	0.00	0.00	2,966.00	計	6,700.00	3,400.00	0.00	10,100.00	
	江別西	100.00	0.00	0.00	100.00	伊達	4,700.00	168.00	0.00	4,868.00	
	岩見沢	5,699.00	905.66	0.00	6,604.66	室蘭	0.00	0.00	0.00	0.00	
	岩見沢東	3,054.00	0.00	0.00	3,054.00	室蘭東	0.00	0.00	0.00	0.00	
	栗沢	3,500.00	0.00	0.00	3,500.00	室蘭北	0.00	0.00	0.00	0.00	
	栗山	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	登別	0.00	0.00	0.00	0.00	
	当別	42.00	0.00	0.00	42.00	洞爺湖	1,200.00	0.00	0.00	1,200.00	
計	17,861.00	905.66	0.00	18,766.66	計	5,900.00	168.00	0.00	6,068.00		
4	札幌	2,300.00	6,000.00	0.00	8,300.00	函館	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌あけぼの	300.00	300.00	0.00	600.00	函館亀田	2,400.00	800.00	0.00	3,200.00	
	札幌はまなす	2,141.00	753.00	0.00	2,894.00	森	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	
	札幌北	2,116.83	4,427.58	0.00	6,544.41	七飯	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌モーニング	40.00	0.00	0.00	40.00	長万部	650.00	650.00	0.00	1,300.00	
	札幌西	900.00	0.00	0.00	900.00	計	4,050.00	1,450.00	0.00	5,500.00	
	札幌西北	3,082.08	1,000.00	0.00	4,082.08	江差	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌手稲	3,000.00	0.00	0.00	3,000.00	函館五稜郭	2,164.00	0.00	0.00	2,164.00	
計	13,879.91	12,480.58	0.00	26,360.49	函館東	0.00	0.00	0.00	0.00		
5	札幌東	11,168.00	0.00	0.00	11,168.00	函館北	2,043.00	4,105.17	1,000.00	7,148.17	
	札幌清田	214.55	2,650.00	0.00	2,864.55	上磯	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌幌南	8,110.91	0.00	0.00	8,110.91	松前	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌真駒内	0.00	0.00	0.00	0.00	計	4,207.00	4,105.17	1,000.00	9,312.17	
	札幌南	5,680.00	0.00	0.00	5,680.00	白老	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌大通公園	0.00	0.00	0.00	0.00	苫小牧	1,586.10	0.00	0.00	1,586.10	
	札幌セントラル	0.00	0.00	0.00	0.00	苫小牧東	2,273.49	1,434.82	0.00	3,708.31	
	新札幌	1,900.00	0.00	0.00	1,900.00	苫小牧北	5,216.65	47.27	0.00	5,263.92	
計	27,073.46	2,650.00	0.00	29,723.46	計	9,076.24	1,482.09	0.00	10,558.33		
6	岩内	1,905.17	1,800.00	0.00	3,705.17	地区内クラブ合計	142,625.73	41,271.90	1,200.00	185,097.63	
	倶知安	3,688.68	0.00	0.00	3,688.68	地区	5,000.00	(4,999.55)	0.00	0.45	
	小樽	2,420.00	0.00	0.00	2,420.00	合計	147,625.73	36,272.35	1,200.00	185,098.08	
	小樽南	0.00	0.00	0.00	0.00	※使途指定寄付：マッチング・グラント、ポリオ・プラスを含む ポリオ・プラスの寄付額は 41,271.90(クラブ合計)+0.45(地区)=\$41,272.35です 1人当たりの年次寄付額 第1位 長沼 R C \$ 135.29 第2位 深川 R C \$ 112.76 第3位 苫小牧北 R C \$ 106.46					
	小樽銭函	1,540.00	1,100.00	0.00	2,640.00	年次寄付額 第1位 札幌東 R C \$11,168.00					
	蘭越	1,500.00	750.00	0.00	2,250.00	第2位 札幌幌南 R C \$ 8,110.91					
	余市	860.00	0.00	0.00	860.00	第3位 滝川 R C \$ 6,200.00					
	計	11,913.85	3,650.00	0.00	15,563.85						

ロータリーの会員増強ガイドライン

地区会員増強委員会

ロータリーは「寄付金と会員増強のことしかいわない」との批判の声がある。寄付金も会員増強もともに大切なものであり、またロータリーの力の象徴でもある。しかしここで述べることは単に力の誇示としての会員増強ではなく、ロータリーの心をよく理解した真のロータリアンを増やすにはどうしたらいいかについて述べるものである。

会員増強は現実的にはロータリーの抱えるあらゆる問題の縮図であり、その問題解決はいまかなり難しい状況にある。しかし、会員増強がなぜ必要かの論議を踏まえ、ロータリーの根本課題としてやはりこの問題を会員みんなで真剣に考えていかねばならない。具体的にはロータリーとは何か、真のロータリアンとはどういう人であるべきかをよく考えたうえで、ロータリアンの退会防止に努力し、また新会員の入会促進を図らなければならない。

会員増強はなぜ必要か？

「数は力なり」というとおり、沢山の会員と豊かな経済背景があれば、より大きなことが出来ることはすでに多くの組織で示されている。僅か4人で始めたロータリーはその芽が大きく育ち、100年のうちに120万人の会員を擁するまでに成長した。しかもロータリーは国内外に大きな社会貢献をしてきたことは衆知の事実である。

残念ながらここ数年、とくに我が国においてロータリー会員数が減少に転じ、またそれに伴う財政的危機が表立ち、クラブによってはかなり深刻な状況になってきた。こういった危機感を背景にロータリーでは会員増強の必要性が声高らかに言われ始めたのである。

しかし一方に、ロータリーの原点に立ち返り、身の丈にあったロータリー活動に専念するべきではないかとの声のあることも事実である。またロータリーの組織運営に対する改革なくして会員増強はないとの声もある。いずれにしても、ロータリーは100年の歴史を重ねる間に、「ロータリーの綱領」と「四つのテスト」で代表される基本概念が形骸化し、ステータスシンボルとしての単なる社交クラブや奉仕団体になったかも知れないのである。このような懸念に我々はどうか答えていったらよいのだろうか？

以上の経緯を踏まえながら考えてみると、良質のロータリアンが増えること自体は大変結構なことである。これは単にロータリーの活動力を大きくするという以上に、社会のリーダーシップを担う、より多くのロータリアンが社会の信望を集め、その言動が世界の久遠の平和と人類の幸せに些かなりとも貢献できると考えるからである。

基本的に大切なこと

忘れてならないのは「会員増強の真意」をよりよく理解することである。それは単に会員の数を増やすためではなく、会員各自が真のロータリアンになるべく努力をすることであり、また真のロータリアンになれそうな人を見つけ、そういう人を一人でも多く真のロータリアンに育てていくことである。

言うまでもないことだが、真のロータリアンとは社会的名誉、地位、財産に関係なく、正義、倫理、信義の心を重んじ、しかも人間性豊かな職業人のことである。ロータリアンは自らの職業をとおして地域社会に貢献し、さらに世界の恵まれない人達に愛の手を差し伸べる心を実行したいのである。

この目的に沿った会員増強を少し考えてみよう。

具体策としてまず取り組まねばならぬことは、各自が所属するロータリークラブにユニークな魅力を作る努力をすることである。ロータリーの魅力はお互いが真実を求め公正な気持ちをもって信頼し、仲良く親睦を重ねることから生まれる。さらに社会の恵まれない弱者、あるいは苦境に喘ぐ人達に慈愛の心をもって奉仕に努めることである。ロータリーの魅力はそういうことのできる人達の行動の中から大きく育っていく。

会員間の厚い友情、そして他人に何かをしてあげる奉仕に人生の喜びを感じることの出来る人達が集まってこそ、人を魅きつけてやまない集団が出来あがる。会員増強はそれ自身が決してロータリーの目的であってはならないし、あくまで結果としてそうなることが望ましいのである。

以上のような観点に立って、会員増強のための試案を以下に述べてみよう。具体的には地区内各クラブの事情を十分勘案したうえで進めたいものである。

退会防止のための12項目

1. 新入会員のために継続的なオリエンテーションと教育プログラムを作ることが緊急に必要である。新会員に「四つのテスト」の何たるかを語り、ロータリーのあるべき魅力を伝えてほしい。同時に新会員の意見や希望もフランクに聞くようにしたい。また仮に新会員であっても本人の関心の高い分野のロータリー活動に積極的に関わってもらったらよい。

新会員もまたクラブに早く溶け込み、またロータリーについての勉強に自発的な努力を惜しまないでいただきたい。入会后ロータリアンになって3年以内に退会するような仲間は本人の責任もあるが、むしろ推薦者

の責任であると同時にクラブ全体の責任なのである。

2. 「家庭集会」などの集を開き会員間のコミュニケーションを十分に行い、組織としての風通しをよくすることも大切である。クラブはみんなが平等であり、会員が自らの考えを率直に発言しあえる自由闊達な雰囲気のものでなければならない。ロータリアンはそういう環境をつくる責任がある。腹蔵のない意見交換は建設的なものである限り、これは決して喧嘩ではなくよりよい結論を得るための必須の条件なのである。
3. コミュニケーションはすべて善意と良識と寛容の心をもって話し合うことが前提である。しかも事を民主的に進め、総意をもって決めることである。特に控え目な年長者の意見を十分に組み入れることにも留意したい。ただ、活発な議論が必要といっても、クラブ運営に際して協調性を欠き自分の意見を押しつけようとしたり、また自分の都合しか考えない利己的な言動を許してはならない。クラブの内紛に嫌気をさして退会者が出るようなことは決してあってはならない。
4. 魅力的な例会は会長のリーダーシップのもと毎週1回の限られた時間を有効、かつ有意義に使うことから始まる。虚飾、虚礼など形式的なことに気を取られることなく、また例会をマンネリ化させることなく、常に新鮮で自由闊達な運営を心掛けたい。委員会報告など手際よくすませ、ゲストや会員の生の声を聞く時間を多くとりたい。
会長はそのようなことをよく理解し実行してくれる人でありたい。会長は単に年功序列、入会順に選ばれるものではなく、その人間性、ロータリーに対する熱意、そして期待されるロータリアンかどうか見極めたうえで決められるべきである。さもなければ会員は失望し、これが退会の動機になってしまうことがある。
例会時、会員のスピーチは簡潔で要を得たものであるようにしたい。プログラムはもともとプログラム委員会の担当ではあるが、出来れば会長以下会員の意見を予め求めるようにしておきたい。プログラムの選択は例会の成否にかかわる最も重要な決め手になることが多いからである。
5. 会員は各人の趣味を大切に、趣味のサークル活動に積極的に参加するなど、お互い趣味を介する心の絆を深めたい。趣味サークルはゴルフ、テニスなどのスポーツのほか、楽器を楽しむ音楽サークルや碁、将棋、麻雀などのいずれでも楽しくやればよい。
6. ロータリーの輪は趣味だけではなく、奉仕活動にこそ広げたい。奉仕による感動と喜びを、会員の間で共有したいものである。奉仕は四大奉仕のいずれであれ、またその内容は任意であるとして、趣味のサークルと同じようにできるだけ楽しいものであるようにしたい。
7. ロータリーの趣味と奉仕の輪はロータリー家族にも広げていくべきである。「ロータリー家族」とはRI・2003-2004年度のジョナサンB、マジアベ会長が強調

されるように、会員家族（配偶者と子供・親兄弟）だけでなく、青少年交換留学生、インターアクト、ローターアクト（OBを含め）、財団・米山奨学生と学友、さらには物故会員の家族など、ロータリーに関わる全ての人達のことである。大切なことはロータリー家族の人達が家族的な親しみのあるクラブを作ることであり、また世界中のロータリー関係者が家族的共同体感覚を強めることである。いずれも退会防止に役立つと期待される。

8. ロータリーの輪は他のクラブにも広げていくのが理想である。自分の所属するクラブの限られた数の会員間だけでなく、他のクラブ会員にも広く声をかけ合同例会や合同のサークル活動をもつなど、親睦と奉仕の輪を広げたい。
9. ロータリーの輪はロータリーの会員でない非会員の地域住民にも呼びかけ、地域におけるお互いの連帯感を育てていくことが望ましい。地域住民との交遊を深めることはロータリーへの理解を深め、退会防止だけでなく新会員推薦の機会にもなるかもしれない。
10. クラブ年会費は無駄を極力省くことで低額に設定し、RI・地区会計も含めできるだけ経済的負担を軽くしたい。その自主努力はいろいろあるが、例えば例会場を安価な場所に移したり、人件費など諸経費の節減を考えたい。また毎回の食事を軽食で済ますとか、食事を個人負担にするとか、また食事なしで茶菓だけの例会を組み入れるのも一案である。会計はすべてオープンにすることは言うまでもない。
11. 例会出席は極めて大切なことであるが、欠席会員を責めるような規則一点張りの督促は避けたい。まず欠席の理由を尋ね、その会員の心情を理解するよう心掛けるべきである。例会に欠席がちな会員、また出席はしても他の会員との会話も少なく淋しそうにしている会員は退会を考慮中かもしれない。このような人にはみんなが積極的に話しかけるようにしたい。ビジターに対し暖かく話しかける気配りは言うまでもない。
12. 究極は自分が所属するクラブに自ら入会したいと思うようなロータリークラブを作ることである。これが他人に入会を勧誘するもっとも大きな動機となる。もし自分のクラブが自慢できないのであれば、その理由を厳しく考察したうえ、望ましいクラブに作り変えるように、勇気を持って全員が力を合わせるべきである。
なお毎年8月が会員増強月間と決められている。しかし会員増強の努力はその1か月だけ行えばよいのではない。1年をとおしてのものと理解したい。

入会促進のための8項目

1. クラブの会長以下の全会員が新入会員の勧誘に言行一致で取り組みたい。特に会長始め全理事は責任を持って各1名の新入会員の獲得を心掛けたい。とくに女性、

若年層の方々は勧誘の第一義的な対象となる。青年会議所会員もロータリー入会の有力候補であり、また財団学友・米山学友、元ロータリアンのなかにも適当な候補者がいるかも知れない。

2. 新会員の選考にあたってはロータリーの心を理解できそうな人、またロータリアンとしてふさわしいと思われる人から選びたい。この人ぞと思う候補者を見つけたら何人かで協力し合って勧誘する。また、候補者をクラブ例会に案内し、例会の雰囲気のみてもらうなどの方法で予め相互理解を深めるのもよい。
3. コミュニティの歴史や伝統をふまえ、クラブとコミュニティとの密接な関係を構築したい。ロータリーの規則に従順である以上に、クラブの個性的魅力をどうやって作っていくかを第一義的に考えたい。例えば個々のクラブがその地域におけるユニークな社会奉仕を行うことでロータリーの存在感を示したい。またその活動内容を地域の人達に積極的にPRしたい。
4. ロータリーの心を伝える「クラブ会報」を作り、これを「ロータリーの友」、「月信」とともに会員によく読んでもらうだけでなく、コミュニティの人達にも広く見てもらうようにしてほしい。これはロータリーの社会における認知度を高め、またロータリーの理解を深めてもらうのに役立つであろう。
5. チャリティコンサート、チャリティゴルフコンペに会員や「ロータリー家族」だけでなく、ロータリーに関係のない人達の参加をも奨励し、これらの人のロータリーに対する親近感を増す努力を普段から重ねたい。機会をみてロータリーの活動内容を紹介し、これぞと思う人を認めたら謙虚な気持ちで入会を勧誘する。
6. 一方、入会のための無理な勧誘はしてはいけない。甘言をもって安易に勧誘してもいけない。また仮に本人が希望しても、場合によっては入会を断ることがあってもやむを得ない。ときには断固拒否しなければならない場合もあるかも知れない。
7. 入会金は親子会員、兄弟会員、元会員について軽減などの配慮があってもよいし、既に入会金を超低額にしたクラブもある。年会費は親子会員、兄弟会員で一部軽減の例もある。新入会員を受け入れ易くするため、必要があればクラブ内での細則の検討を考えてみたい。なお、会員の希望によっては例会時間の検討が必要なものもあるかも知れない。
8. このガイドラインの最初に述べたとおり、「ロータリーは質か量か」は会員増強の最も本質的な課題である。増強とは会員数を増やすだけでなく、会員の資質を強くすることが前提にあることは言うまでもない。

2002-2003年度のピチャイ・ラタクル会長は「理想的なロータリアンの後ろ姿を見て新しい会員が自然に入ってくるようなロータリーであれば、会員数の問題は自ずと解決する」と言っている。ロータリアンらしい真の会員を増やし、ロータリーの社会的信望を高め

ることがいま強く望まれている。真のロータリアンとは先にも述べたとおり正義、倫理、信義のいずれの面でも社会から尊敬される人である。また周辺の人達に出来る限りの慈愛の心からの奉仕活動を自らの手足で実践できる人達である。この意味ではロータリーは人間形成の場であり、また自らを磨く道場と心得たいものである。

グローバルな視野と長期の展望を

ロータリーはロータリーが楽しくて仕様がなく、また自分の職業が楽しくて仕様がないう人達の集まりでありたい。また他人に喜んでもらう奉仕活動が楽しくて仕様がないう人達の集まるどころでもありたい。このような楽しみを与えられていることに我々はいつまでも感謝する心を忘れないでいたいと思う。

またロータリーはロータリアンとして結ばれたご縁に感謝し、相手をお互い大切にしよう心を尊重する人の集まりでもありたい。言うまでもないことだが、これはロータリーに限らず社会の一員である一人の人間として基本的にもっとも望ましいことのひとつである。

具体的なクラブ運営にあたっては、親睦と奉仕の両輪をうまく回転させることで、あらゆる角度からクラブの魅力を作り出す工夫を試みたい。クラブはクラブ独自のカラーを十分に生かすことに自信をもっていたきたい。この際注意すべきことは起案者の計画を批判するだけでなく、是々非々の議論を尊重しながらも決まったことには自らの手足で実行に移す勇気と行動力、そして協調性を持って欲しい。

親睦について言えば、ロータリーを取り巻く環境はロータリー100年の歴史の間に大きく変遷した。価値観が多様化しただけでなく、人生を楽しむ方法も多種多様となり、例えば安い会費で楽しむ方法はいくらでもある時代である。従って人口密集地帯ほど人口比で見たロータリアン数は低下の傾向にある。現在、我々はロータリアンにとっての親睦とは何かを厳しく再考する必要に迫られている。

奉仕について言えば、ロータリーは大きな社会的貢献をしてきたし、それなりの社会的評価も受けてきた。だが、昨今何となく陰が薄くなった一面がある。ロータリーならではの奉仕とは何か、またロータリー独自の奉仕の実をあげるにはどうしたらよいか、ここでもまた我々には早急に解決すべき課題をつきつけられている。

このようなロータリーの歴史的变化を自覚し、グローバルな視野と長期の展望に立って、これからのロータリーの親睦と奉仕のあるべき姿を求めて討論を重ね、出来ることから実行して、社会の模範となるような言動の積み重ねをしていきたい。これが会員増強の基本と心得たいのである。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 49】

2004年3月10日発行

1. 寄付金速報 ～特別寄付金増進を目標に

2月までの寄付金は、前年同期と比べ5.2%減、約6千万円の減少でした。普通寄付金が3.3%減、特別寄付金が6.2%減です。当会では、頂いた寄付金のすべてを奨学事業費に充てています。今年度の寄付金目標は16億円ですが、このままでは到達は難しい状況です。

前年度寄付額達成率の資料などもお送りする予定ですので、年度末に向けての残りあと4カ月、特別寄付金に重点を置いた寄付増進へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 第2期基礎調査タスクフォース委員会報告

～次の主役は皆様一人ひとりです～

3月2日(火)に、第2期基礎調査タスクフォースの第3回委員会が開かれました。最終回となる今回の委員会では、1,000人におよぶロータリアンの貴重なご意見と、1,800人以上の米山学友の声をもとに、『基礎調査から見えてきたもの』と題した報告書をまとめました。

これから地区協議会や米山月間を通じて、地区やクラブでさらにご協議いただき、その声を2006年度の制度改編につなげていく方針です。明日の米山奨学会の方向性を決めるのは、皆様です。米山奨学事業の次なるステップに、どうぞ「手」をお貸してください。

3. 2004学年度の米山奨学金合格者が決定！

2月までに全国で行われたロータリーの地区選考委員会による選考の結果、2004学年度米山奨学金の新規採用合格者650人が決まりました。今年度からの継続者を含めると、926人の米山奨学生が決定しました(クラブ米山奨学金、特別米山奨学金は除く)。地区米山奨学委員長へのアンケートでは、選考において「異文化への認識を深め、理解しようとする姿勢があるか」、「日本語が話せて、コミュニケーションをはかる意欲が高いか」を重視した地区が多かったようです。これから合格者には、地区によって世話クラブが決められ、さらにクラブでカウンセラーが選定されます。5月のオリエンテーションを経て、正式に米山奨学生となります。

4. 「米山奨学事業に役立てて」5人の指導教員から米山奨学会に寄付(2540地区：秋田)

奨学生の指導にあたった大学の先生方から、「些少ですが米山奨学事業に役立ててください」と寄付の申し出があったのは、国際ロータリー第2540地区主催の米山奨学生歓送会での出来事です。このたび、秋田ロータリー・クラブを通じてご寄付いただいたのは、今年3月に奨学期間が終了する米山奨学生の指導教員で、秋田大学、秋田県立大学の5人の教授です。大学を中心に、教育界でロータリーの留学生支援への取り組みは高く評価されています。その理解の輪をさらに社会に広げていくことが、これからの米山奨学会の課題です。

5. 米山奨学生ハンドブックが新しくなりました

2004学年度奨学生に配布する『奨学生ハンドブック』ができました。新しいハンドブックでは、奨学生が困ったときのバイブルとなるよう、目次に工夫し、ロータリアンとの交流についての事例研究や、留学生を取り巻く社会的環境の説明、トラブルに巻き込まれないための心得など、新しい情報を提供しています。地区でのオリエンテーションやカウンセラー研修会で、ぜひご活用ください(奨学生には3月中に配布し、世話クラブ・カウンセラーには、クラブ事務所宛に4月末までにお送りします)。

6. 奨学期間終了式で、ソニーの人事統括部長が記念講演(2750地区・2580地区：東京)

～語学力・専門性・異文化理解の心をもって、
社会に羽ばたいてとエール～

2月19日に都内のホテルで開かれた東京地区(国際ロータリー第2750地区、第2580地区)の奨学期間終了式では、ソニー株式会社人事センター・リソースマネジメント部統括部長の中田研一郎氏を講師として、『日本企業から見た留学生の人材活用』と題した記念講演が行なわれました。中田氏は、留学生を含めた外国人を積極的に採用することで“内なる国際化”を推進するソニーの戦略と現場事情を例に、「玉ねぎではなく、桃になれ。核のある専門性をもって、社会で活躍してほしい」と、これから巣立つ奨学生にエールを送りました。

奨学生は日本と世界を結ぶ「懸け橋」です。その活躍の場は、母国に限らず、日本に、そして世界に広がっています。

※ソニーの中田研一郎氏と大島精次常務理事／広報担当理事との対談『内なる国際化を目指して～知的資源として留学生を考える～』が、「ロータリーの友」4月号のよねやまだよりに掲載されます。ご期待ください。

7. 米山奨学会理事 小林 茂氏 (2540地区) 逝去
国際ロータリー第2540地区の理事 小林 茂氏が、2月6日にご逝去されました。享年73歳でした。小林理事は、1998-99年度の同地区パストガ

バナーで、2000年8月から当会理事となられ、任期は2005年8月までの予定でした。2001年8月からは、広報専門委員としてもご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

財団法人ロータリー米山記念奨学会
編集担当：峯

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

問い合わせメール：

highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ：

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

栗山 R C	利国 奈美子	会員	2月20日
札幌西 R C	村上 登	会員	2月27日
札幌西北 R C	小川 真治	会員	2月13日
倶知安 R C	富樫 ゆきゑ	さん	2月20日
(富樫美津雄会員夫人)			

お詫び：ガバナー月信第9号（3月号）のマルチプル・ポール・ハリス・フェローで、札幌東RC、赤倉正人会員とお知らせ致しましたが、正しくは朝倉正人会員です。関係各位に深くお詫び申し上げます。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西北 R C	馬 杉 榮 一	会員	2月12日	第2回（マルチプル）
恵庭 R C	三 浦 孝 治	会員	2月5日	第1回
千歳 R C	福 田 武 男	会員	2月20日	第7回（マルチプル）

功労クラブ

千歳 R C	2月20日	第1回
--------	-------	-----

文庫通信(198号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会誌より

- ◎「作家生活30年を迎えて」 宮尾登美子 2003 11p (D.2560 記念講演)
 - ◎「これでよいのか日本の食」 小泉武夫 2003 9p (D.2530 記念講演)
 - ◎「ふる里の水をきれいにするために」 廣木謙三 2003 4p
(D.2530 シンポジウム基調講演)
 - ◎「わが父 太宰治の真実の愛」 津島園子 2003 4p (D.2830 記念講演)
 - ◎「講話(教育問題など)」 中曽根弘文 2003 8p (D.2560 講話)
 - ◎「地球は俺らのステージだ！」 大場満郎 2003 5p (D.2810 記念講演)
 - ◎「今、日本が直面する内外の課題」 櫻井よしこ 2004 15p (D.2780 記念講演)
 - ◎「ロータリーの愛を地域社会に一劣等ロータリアンのつぶやき」 東島末起 2003 7p
(D.2520 基調講演)
 - ◎「アナトリア考古学について」 寛仁親王殿下 2003 4p (D.2800 特別講演)
 - ◎「今、なぜ日本がトルコで考古学の発掘調査を行うのか」 大村幸弘 2003 6p
(D.2800 特別講演)
- [上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃報 心よりご冥福をお祈りします

藤 林 稔 充 会員 (札幌南RC)



2004年2月10日ご逝去(享年74歳)

ロータリー歴等

1970年8月3日入会

1991年 第36代会長

ポール・ハリス・フェロー

米山功勞者

*** 掲示板 ***

・例会変更のご案内

- | | | |
|-----------|----------|---|
| ★羽幌 R C | 4月29日(木) | 休会 |
| ★赤平 R C | 4月17日(土) | クラブ主催による講演会 13:30~
テーマ:「私が変われば人生も変わる」
講師:五十嵐 仁氏
(株)インターフェイス 代表取締役)
場所:みらい4階 |
| ★芦別 R C | 4月16日(金) | 夜間例会 18:00~ 場所:鰯広 |
| ★美唄 R C | 4月8日(木) | 夜間例会 18:30~ |
| | 4月29日(木) | 休会 |
| ★江別 R C | 4月8日(木) | 移動夜間例会(ボウリング大会)
18:00 ボウリング 19:00 点鐘
場所:原始林ボウル |
| | 4月29日(木) | 休会 |
| ★札幌清田 R C | 4月2日(金) | 第5グループ(8 R C) 合同例会(4月6日の例会を変更)
※サッポロルネッサンスホテル改装により全館休業の為、4月6日(火)の昼間受付は実施しません。 |
| ★室蘭東 R C | 4月21日(水) | 休会(2月8日の振替) |

・メールアドレスの変更について

- ★千歳 R C のメールアドレスが、c-rotary@phoenix-c.or.jp に変更となり、合わせてホームページも <http://www.phoenix-c.or.jp/~c-rotary/> で開設しました。
- ★芦別 R C の小畑陽彦幹事のメールアドレスが、***** に変更となりましたので、地区名簿のご訂正をお願い致します。

親睦活動委員会ニュース

●JGFR(日本ゴルフ同好会)国内大会

- 第2回JGFRお花見東京大会
日 時:平成16年4月5日(月)
コース:小金井CC
- 第14回JGFR北海道大会
日 時:平成16年6月14日(月)
コース:札幌ゴルフ倶楽部(輪厚コース)
- 第7回JGFR大阪大会
日 時:平成16年9月9日(木)
コース:茨木CC
- JGFR広島大会
日 時:平成16年10月12日(火)
コース:広島八本松CC
- 第18回JGFR東京大会
日 時:平成16年11月8日(月)
コース:小金井CC

●IGFR世界大会

- 41th大会
日 時:2004年5月17日(月)~21日(金)
コース:米国・NC州・シャルロット
- 42th大会 2005年
オーストラリア キーンズランド
- 43th大会 2006年 トルコ アンタリア
- 44th大会 2007年 フィリピン マニラ

※詳しくは地区親睦活動委員会へ
(親睦活動委員長 灰野 篁)

2月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03. 7. 1	04. 2. 29	増減	内女性	
1	深 川	4	43	42	-1	2	73.85
	羽 幌	4	47	47	0	1	74.45
	妹 背 牛	3	10	10	0	0	86.00
	小 平	4	16	16	0	0	68.75
	留 萌	3	64	63	-1	0	89.58
	小 計		180	178	-2	3	78.53
2	赤 平	4	35	36	1	2	83.75
	芦 別	4	58	55	-3	0	91.67
	砂 川	3	55	55	0	0	97.49
	滝 川	4	109	108	-1	2	72.00
小 計		257	254	-3	4	86.23	
3	美 唄	4	47	44	-3	0	88.88
	江 別	4	46	46	0	1	86.93
	江 別 西	4	40	38	-2	3	92.77
	岩 見 沢	4	100	100	0	0	89.32
	岩 見 沢 東	4	34	36	2	3	83.25
	栗 沢	3	33	31	-2	2	92.47
	栗 山	4	32	32	0	2	96.48
	当 別	4	42	39	-3	0	85.26
	小 計		374	366	-8	11	89.42
4	札 幌	3	113	127	14	0	97.88
	札幌あけぼの	3	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	4	30	29	-1	5	68.52
	札 幌 北	4	54	55	1	5	86.58
	札幌モーニング	3	60	62	2	0	74.32
	札 幌 西	4	74	76	2	2	91.87
	札 幌 西 北	4	50	49	-1	2	89.24
	札 幌 手 稲	4	44	41	-3	1	98.78
	小 計		443	456	13	16	88.40
5	札 幌 東	4	118	127	9	0	99.57
	札 幌 清 田	4	29	28	-1	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	81	75	-6	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	3	46	45	-1	2	97.46
	札 幌 南	4	90	95	5	0	94.63
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	77.19
	札幌セントラル	4	19	19	0	6	69.70
	新 札 幌	3	36	36	0	1	89.62
	小 計		438	444	6	18	91.02
6	岩 内	4	35	36	1	0	74.16
	倶 知 安	4	57	57	0	4	73.68
	小 樽	4	88	84	-4	0	86.46
	小 樽 南	4	86	85	-1	0	90.26
	小 樽 銭 函	4	22	23	1	3	79.35
	蘭 越	4	15	15	0	0	86.66
	余 市	3	46	44	-2	4	84.83
	小 計		349	344	-5	11	82.20

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,310人 (97人)
増加会員数	6人
当月平均出席率	84.07%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03. 7. 1	04. 2. 29	増減	内女性	
7	千 歳	4	72	71	-1	2	87.70
	千歳セントラル	4	31	30	-1	0	88.35
	恵 庭	3	50	50	0	0	76.61
	北 広 島	4	15	18	3	2	91.18
	長 沼	4	17	20	3	4	86.70
	由 仁	4	16	16	0	0	87.50
小 計		201	205	4	8	86.34	
8	え り も	4	23	25	2	0	80.00
	三 石	4	18	18	0	1	93.00
	様 似	4	20	19	-1	2	61.88
	静 内	3	68	70	2	0	79.41
	浦 河	4	42	42	0	1	85.71
	小 計		171	174	3	4	80.00
9	伊 達	4	55	58	3	0	72.64
	室 蘭	4	56	55	-1	0	87.91
	室 蘭 東	3	48	47	-1	0	84.30
	室 蘭 北	4	39	38	-1	2	80.92
	登 別	3	39	41	2	2	85.37
	洞 爺 湖	5	12	11	-1	0	90.90
	小 計		249	250	1	4	83.67
	10	函 館 館	4	101	104	3	0
函 館 亀 田		4	47	47	0	1	84.58
森		3	48	48	0	0	80.00
七 飯		5	29	30	1	0	65.00
長 万 部		4	12	13	1	0	75.00
小 計			237	242	5	1	75.70
11	江 差	4	21	18	-3	0	75.00
	函 館 五 稜 郭	4	64	71	7	0	89.58
	函 館 東	3	60	57	-3	6	78.40
	函 館 北	3	43	39	-4	0	79.28
	上 磯	4	33	31	-2	3	69.40
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計		230	225	-5	10	76.39	
12	白 老	4	32	33	1	2	78.00
	苫 小 牧	4	61	61	0	0	70.73
	苫 小 牧 東	4	33	31	-2	3	85.90
	苫 小 牧 北	4	49	47	-2	2	98.09
	小 計		175	172	-3	7	83.18
合 計		3,304	3,310	6	97	84.07	

地区カレンダー（4月・5月）

4 月	
1(木)	
2(金)	第5グループ（8RC）合同例会 （サッポロルネッサンスホテル）
3(土)	
4(日)	
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	第3回財団学友委員会 （サッポロルネッサンスホテル）
11(日)	
12(月)	
13(火)	第4グループ（4RC）合同例会 （札幌グランドホテル）
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	地区協議会（室蘭市民会館・蓬峯殿）
18(日)	
19(月)	
20(火)	R財団国際親善奨学生応募締切
21(水)	
22(木)	
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	みどりの日
30(金)	

5 月	
1(土)	
2(日)	
3(月)	憲法記念日
4(火)	国民の休日
5(水)	子どもの日
6(木)	
7(金)	
8(土)	
9(日)	第2グループ・合同例会（芦別北の京）
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	栗沢RC創立40周年記念式典 （栗沢町立町民センター）
16(日)	第1グループ・ワークショップ （留萌市中央公民館）
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	国際大会ROX全国会議
23(日)	国際大会（大阪）
24(月)	国際大会（大阪）
25(火)	国際大会（大阪）
26(水)	国際大会（大阪）
27(木)	
28(金)	
29(土)	RAC地区年次大会
30(日)	
31(月)	